



「原水爆禁止 2019 年世界大会」にご参加の皆様並びに関係者の方々のご尽力に敬意を表します。

広島・長崎に原子爆弾が投下されてから 74 年が経過する今日も依然として、世界各地では紛争が絶えず、人々は未だに核兵器の危機にさらされています。戦争を経験していない世代が国民の大多数を占めるようになり、その悲惨な記憶が次第に薄れる中で、私たち自治体の持つ役割は大きく、核兵器廃絶と世界の恒久平和のため、一層の努力をしていかなければならないと考えています。

平成 16 年 4 月に「逗子市非核平和都市宣言」を行った本市におきましては、市民の活発な非核平和推進活動促進のため、平成 17 年から逗子市被爆者の会との共催で「原爆と人間展」を、平成 23 年からは市民団体が中心となって企画・運営する「ずし平和デー」を共催するなど、様々な取り組み、活動を行っています。

今後も、より多くの方に平和な社会の実現について考えていただける機会を設けるとともに、地域の皆様が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

結びに、皆様のますますのご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。

2019 年（令和元年）8 月 3 日

逗子市長 桐ヶ谷 覚

逗子市

青い海と みどり豊かな 平和都市